

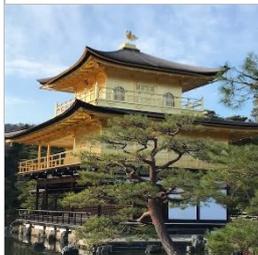


大志



【学校教育目標】「よく学び、心豊かで、たくましい生徒の育成」

文責 河西 美代司



若中生の当たり前 2学期

正しく恐れながら、出来る対策をしながらの長い2学期が終わりました。コロナの流行は徐々に収まり新しい生活様式での学校生活も『普通』かのように日々が過ぎていきます。歴史を振り返ってみれば、それまででは考えられないような『普通ではない』事が起こり、それに対処、適応することで人類が進化し社会が発展してきたように思います。2学期行われた数々の行事や取組が、皆さんを成長させてくれました。若中生の当たり前のレベルは確実に上がっています。令和4年も、勉強や行事、そして受験でさえもワクワク、ドキドキしながら挑戦して行って欲しいと願っています。

強歩大会で・・・辛い、苦しい、だから学べることもある

自分の心と体との闘い。苦しいと分かっている、あえて取り組む、取り組まなければならないという葛藤。中学校時代しかできないことかも知れない。共に走る仲間と、安全指導・応援の保護者に支えられて（ありがとうございました）。

修学旅行で・・・本物を見て感じて、本物の自分をつくる

コロナ禍での旅。感染症対策をとりながらどう学ぶか、楽しむか。あいさつ、マナー、時間、話の聞き方、他の人への思いやり、若中の顔として、旅人として、〇〇家の子どもとして、修学旅行を創り上げてくれました。

地域貢献活動&みまもり隊で・・・目的として、手段として

清掃活動も、小学生との交流も、みまもり隊の活動も、目的は明確。プラスすべては「自分を磨く」手段でもあるということ。小学生が憧れ、小学校の先生方が感心感動するほどの人に君たちは確実に成長しています。

生徒会選挙・生徒総会で・・・気付き、考え、行動する力

「誰一人取り残さない」は、言葉としては美しいけれど、簡単なことではありません。想像力+調整力+実践力=SDGsです。誰かがでなく、自分が、自分たちが、と思えることが若中生徒会の最大の強みです。2022、更なる進化を！！

学校外でも、個人でも・・・夢中になるもの、好きなもの

今日の全校集会でもたくさん表彰者の紹介がありました。サッカーやダンス、自由研究や感想文などなど、学校外でも頑張っている人が何と多いことでしょう。時間も体力も、もちろん精神的にもきついこともある中で、素晴らしい。頑張っているそのプライドが、更に学校生活でも発揮されることで、更に磨かれていく。校外での活動も頑張ってください。応援しています。

「昨日までの行動が今日の自分を創り、今日の判断と決意が明日の自分を創る」



小中一貫教育がスタートします！！！！

17日（金）18:30から若中視聴覚室に於いて「第3回小中一貫教育推進協議会」が行われ、令和4年4月1日から、「小中一貫校南アルプス市立若草中学校」（仮称）をスタートさせることが決まりました。設置の目的は「未来を切り拓く学校教育の充実」「教員の意識改革と指導力の向上」「中一ギャップの解消」「教育課程のつながり」などです。つまり、「9年間を見通して、小中の教員が同じ方向に向かって、一貫した教育を進め、子どもたちが安心して通える学校」を創っていくということになります。これまで、小中の教員が合同で研修をしたり、児童生徒がスポーツや貢献活動などで交流したりしてきましたが、来年度以降、更に連携・協力しながら「たくましく、しなやかな子どもたち」を育てていきたいと思えます。



“人間関係信頼残高” 7つの習慣（7ツクシ・コピー）から

AさんとBさんがいます。例えば、「掃除に遅れた」という同じ出来事でも、周囲の目は日頃の行いによって大きく変わってきます。日頃しっかり掃除をしているAさんには「何かあったのだろうか」と心配をし、いつも遅れるBさんには「またか、サボってるんだらうな」と思ってしまいます。悪い噂が流れたときも、Aさんには「そんなはずはない」、Bさんには「やるんだらうな。もっと悪いことをしているかも知れない」と怖いくらい判断が別れることもあり得ます。

皆さんは貯金（預金）通帳を持っていますか。人間関係においても、このような通帳があります。いいことをすれば相手に貯金がされ、悪いことをすれば相手から引き出される。そうして残った信頼を『人間関係信頼残高』と言います。やるべきことをやらないBさんは信頼残高が減っていき、当たり前前のことを当たり前前にやっているAさんの信頼残高はどんどん増えていくのです。

コピーの「7つの習慣」では、信頼残高を増やしていくためには7つの方法があると言います。

- | |
|---|
| (1) 小さな親切をする (2) 約束し、それを守る (3) その場にはいない人に誠実になる (4) 許す
(5) 人の話に耳を傾ける (6) 見通しをはっきりさせる (7) 謝る |
|---|

以前、若中の3年生の学活で、どうすれば「信頼残高を増やすことが出来るか」を話し合いました。多かったものは「約束を守る」「優しくする」「話を聞いてあげる」「悪口を言わない」などでした。

その際、「7つの習慣」をもとに具体的な目標としてあげられ、学級の目標としたことは、……

- (3) その場にはいない人に誠実になる。→「悪口、陰口を言わない」
- (4) 許す→「失敗や間違いをゆるしてあげる」
- (6) 見通しをはっきりさせる→「できそうもないことは言わない、安請け合いしない」
- (7) 謝る→「約束を破ったり、相手が嫌なことをしてしまったらキチンと謝る」

「7つを全部できる人はなかなかいないよ」という正直な意見も出されましたが、これらを意識し、ひとつずつでもできるように努力することが、人として成長することだし、いいクラスをつくることだと皆で確認することができました。その後、「7つの習慣」は模造紙に大きく書かれ、クラスの解散時まで掲示されました。

日頃の行いにより、人からどう見られるかが決まる。これは、至極当然なことではありますが、怖いことでもあります。

【生徒数配布】 カラー版は若中HPにアップしています